

科目名	日本語文化 Japanese Language and Culture	科目コード	A0130
-----	--	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年(プログラム3年)
担当教員	猪平 直人・今野 哲(一般教育科)
区分・単位数	選択・2単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳: 講義 30, 演習 0, 実験 0, その他 0】
教科書	『芥川龍之介全集 4』(ちくま文庫)及び担当者によるプリント。
補助教材	担当者によるプリント。
参考書	国語辞典・古語辞典。他は授業時に指示する。

### 【A. 科目の概要と関連性】

前半では、古典文学作品(主に平安時代まで)の中から、伝奇性の強い作品・場面を取り上げて講読する。後半では芥川龍之介の中期から後期にかけての作品の中で、特に奇蹟・怪異等の反リアリズムの性格の強い短編を読解する。

関連する科目: 国語・文学 ・文学 A・文学 B(準学士課程において履修)

### 【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
明快な文章を書く力を身につける。	40%	(B1)
古典文芸作品の伝奇性と日本人の怪異に対する観念を理解する。	30%	(A1)
近代小説の文芸構造の特色を理解する。	30%	(A1)

### 【C. 履修上の注意】

グループもしくは個人での発表を導入した形式で授業を進める。取り扱う作品は、各種古典文学作品と、芥川龍之介の短編作品である。芥川龍之介のテキストは事前に購入しておくこと。古典のテキストは、授業時に教室で配布する。作品は事前に通読し、必要に応じて国語辞典・古語辞典を持参すること。評価は、発表内容とレポートによる。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験(0%)

その他の試験(0%)

レポート(60%)

その他(40%)

【E. 授業計画・内容】

後期

回	内容	課題
1	ガイダンス / 古典文学の伝奇性(1) 上代	古典作品の現代語訳など
2	古典文学の伝奇性(2) 歌物語	古典作品の現代語訳など
3	古典文学の伝奇性(3) 物語	古典作品の現代語訳など
4	古典文学の伝奇性(4) 物語	古典作品の現代語訳など
5	古典文学の伝奇性(5) 物語	古典作品の現代語訳など
6	古典文学の伝奇性(6) 説話	古典作品の現代語訳など レポート準備
7	古典文学の伝奇性(7) 説話	古典作品の現代語訳など レポート準備
8	古典文学の伝奇性(8) 説話	古典作品の現代語訳など レポート提出(1)
9	「南京の基督」の発表・討議および講義・解説	作品研究・読解
10	「影」の発表・討議および講義・解説	作品研究・読解
11	「秋山図」の発表・討議および講義・解説	作品研究・読解
12	「奇怪な再会」の発表・討議および講義・解説	作品研究・読解
13	「神々の微笑」の発表・討議および講義・解説	作品研究・読解 レポート準備
14	「仙人」の発表・討議および講義・解説	作品研究・読解 レポート準備
15	「馬の脚」の発表・討議および講義・解説	作品研究・読解 レポート提出(2)